



2024年11月12日

各位

会社名 株式会社セルム  
代表者名 代表取締役社長 加島 禎二  
(コード：7367、スタンダード)  
問合せ先 取締役 吉富 敏雄  
(TEL. 03-3440-2003)

### 資本政策の変更及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、資本政策方針を以下の通り変更したうえ、期末配当予想を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 資本政策の変更の理由

当社は、企業価値を拡大し、株主の皆様に対する利益還元を行うことを重要な経営課題であるという認識のもと、利益成長と規律ある資本政策に取り組んでおります。当社は、2024年5月14日付で発表しております資本政策方針として、配当性向を35%から40%程度を基準とした安定かつ継続的な配当を行うことをこれまで掲げてまいりました。今般、当社の企業価値及び業績成長を牽引する手段として、財務レバレッジを活用した柔軟性の高いM&A戦略を経営上の重要課題として再定義し、配当性向の水準を40%から50%程度を基準とすることで、当社が目指す業績成長と株主還元のあるべき姿をより明確化することを目的に、変更を決議いたしました。

#### 2. 資本政策の変更内容

変更箇所については下線を付しております。

変更前	変更後
当社は、M&Aを含む戦略的投資を実行し、持続的な利益成長や企業価値向上を実現することが、株主の皆様の期待に応えることになると考えています。 そのために必要な内部留保を確保した上で、配当性向として35%から40%程度を基準とした安定的かつ継続的な配当を行い、2029	当社は、 <u>財務レバレッジの活用を前提としたM&amp;Aを含む投資戦略</u> を実行し、持続的な利益成長や企業価値向上を実現することが、株主の皆様の期待に応えることになると考えています。 そのために必要な内部留保を確保した上で、配当性向として <u>40%から50%程度</u> を基準

<p>年3月期終了時の目標 ROE（自己資本利益率）として25%以上の水準の資本効率性を勘案しながら、株主還元の充実を図ってまいります。</p> <p>なお、長期にわたり留保された余剰資金については、市場環境や財務の状況を踏まえた上で、自己株式取得の実施の是非につき株主還元、M&amp;A の対価、人材獲得、従業員インセンティブ等の観点から機動的に検討し、株主の皆様へ還元していきます。</p>	<p>とした安定的かつ継続的な配当を行い、2029年3月期終了時の目標 ROE（自己資本利益率）として25%以上の水準の資本効率性を勘案しながら、株主還元の充実を図ってまいります。</p> <p>なお、長期にわたり留保された余剰資金については、市場環境や財務の状況を踏まえた上で、自己株式取得の実施の是非につき株主還元、M&amp;A の対価、人材獲得、従業員インセンティブ等の観点から機動的に検討し、株主の皆様へ還元していきます。</p>
--	--

(3) 2025年3月期期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2024年8月9日発表)	円 銭 5.00	円 銭 8.00	円 銭 13.00
今回修正予想	—	9.00	14.00
当期実績	5.00	—	—
前期実績 (2024年3月期)	8.00	11.00	19.00

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の第2四半期末の1株当たり配当金については、2025年3月期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金を算定しております。

(4) 配当予想の修正理由

本日決議しております、資本政策方針上の配当性向の基準変更に伴い、2025年3月期における期末配当につき1円増配し、1株あたり9円にいたします。これにより1株当たりの年間配当金は中間配当金5円と合わせ、14円となる予定です。

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上